

50歳を過ぎたら帯状疱疹の 予防接種ができます

令和4年2月15日発行

薬剤科

帯状疱疹とは・・・

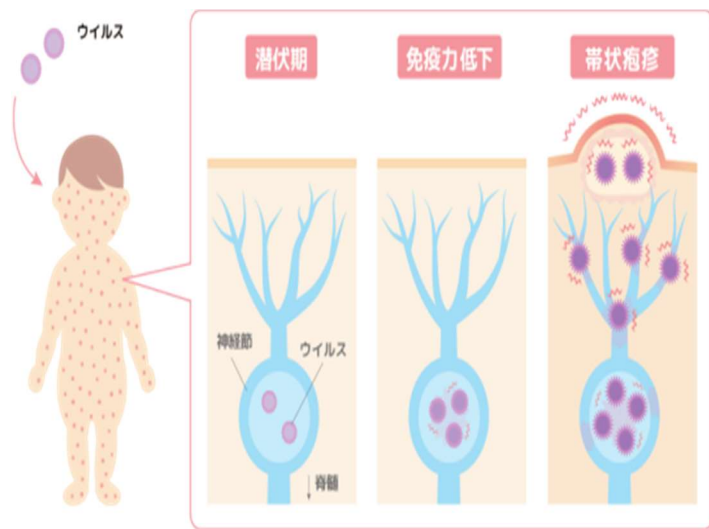
痛みを伴う皮膚疾患

帯状疱疹は神経に潜んでいた水痘・帯状疱疹ウイルスが活性化することで発症する皮膚疾患です。



帯状疱疹の原因

水痘・帯状疱疹ウイルスは日本の成人の9割以上がこのウイルスを保有しています。水疱瘡にかかると完全に除去されず神経細胞に残っています。加齢や過労、ストレスなどで免疫力が低下すると、潜伏していたウイルスが活性化してしまいます。活性化したウイルスは、神経に炎症を起こし、痛みが現れます。



帯状疱疹になりやすい人とは

様々な免疫低下が帯状疱疹リスクとなりますが、加齢の影響は大きく、**50歳以上になると発症率が急増し、帯状疱疹患者の約7割が50歳以上の方です。**

帯状疱疹は早期発見、早期治療が非常に重要です。帯状疱疹という疾患、そして高齢になれば罹患リスクが高まるということを知っていただき、発症の際は速やかに対応いただくことが効果的です。

☆50歳以上の方はワクチン接種で予防することができます

帯状疱疹ワクチンには、**水痘生ワクチン**と**シングリックス**（不活化ワクチン）があります

ワクチン接種については当院外来にて相談ください